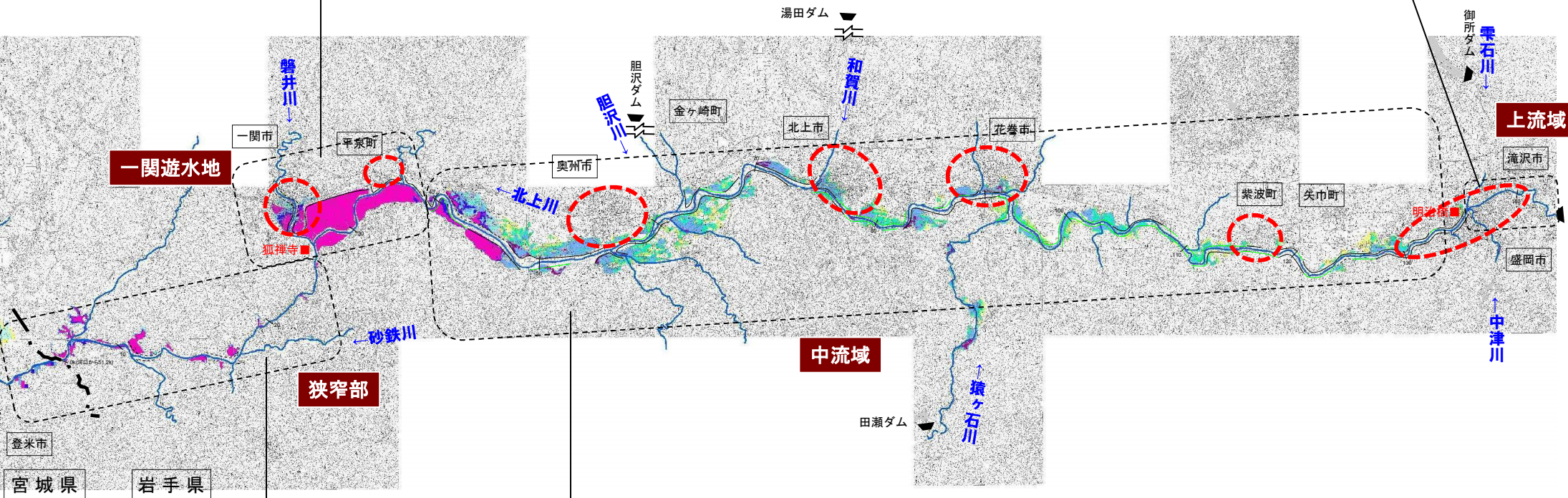


- 北上川(岩手県側)の堤防整備率は、完成堤51%、暫定堤24%、無堤25%。
- 北上川上流は治水対策として5つのダム整備や主要市街地区間の整備を重点的に行ってきたため、中流部の無堤区間や狭窄部の対策が残されており、近年の平成14年7月、平成19年9月洪水でも家屋浸水被害が発生。
- 一関地区は、直下流に延長約30kmの狭窄部があり、狭窄部下流の河床勾配が緩いため、洪水時には狭窄部からの堰上げと上流域からの流入により、上流域に比べ洪水時間が長く(過去の実績では約1.5倍)洪水の規模によっては5mを超える浸水が想定される「貯留型」の氾濫形態。
- 一関地区より上流においては、両岸とも氾濫流が河道内の流れと一体的に流れる流下型の氾濫形態。

【一関遊水地】
 ・周囲堤は概成。小堤、磐井川堤防を整備中。
 ・磐井川沿川は貯留型で、氾濫域には一関市街地。

【上流域】
 ・河道はほぼ完成(堰込河道)。
 ・氾濫は流下型で、氾濫域には盛岡市街地。



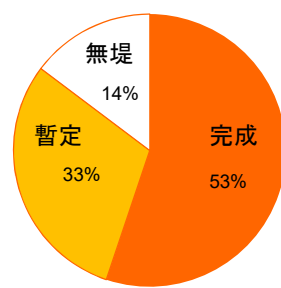
【一関遊水地～北上川狭窄部:貯留型】
 ・宮城県側は堤防未整備
 ・岩手県側は輪中堤、家屋移転・嵩上等整備中。

【中流域】
 ・堤防は市街地を優先して整備。無堤区間が多い。
 ・氾濫は流下型で、氾濫域には花巻市・北上市・奥州市街地等。

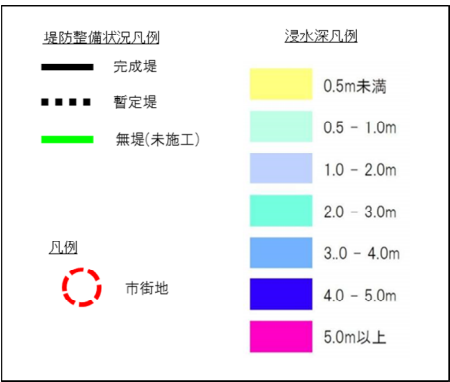
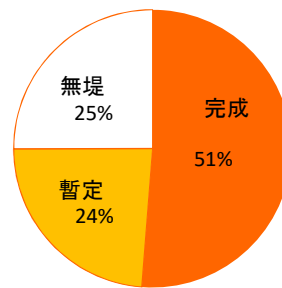
■浸水範囲・浸水深
 基本方針規模※洪水において、氾濫ブロック毎に1箇所破堤させた場合の浸水範囲・浸水深を記載

※基本方針規模：北上川1/150

堤防整備率 H31.3時点 (北上川流域全体)



堤防整備率 H31.3時点 (北上川：岩手県側)



四十四田ダム